

福島県公立学校退職校長会
田村支部会報

たむら

第31号
発行者 菅野 正秀

できることから

新支部長 菅野 正秀



新たに四名の新入会員を迎え、会員七十六名でスタートしました。

本様には、五年という長きにわたる活動のリーダーとしていただき、ありがとうございました。コロナ禍等の中、様々な工夫を凝らされ、今できる最善の支部活動にご尽力いただきましたこと改めて感謝申し上げます。

さて、皆様ご存じのように、退職校長会を取り巻く環境は厳しい状況にあります。様々な要因により活動年齢が高齢化するなど、今までと同じような会活動は困難となり、将来的に持続可能な会活動とはどのようなものが問われています。

このような中、県公立学校退職校長会津大会における体験活動発表の機会を得たことはある意味

幸運でした。八名の発表準備委員会を組織し、「支部活動の現状と活性化に向けた課題」について数回会議を重ね発表原稿を作成しました。多くの会員と現状を共有し、今後の会活動について意見交換できたことは有意義でした。

今年度の会活動の重点は、第一に様々な機会を通して、会員の交流を活性化することです。各種行事や文書配付、会報、交流活動を行う中で、会員同士の顔が見えると嬉しいですね。

第二は、社会貢献活動・学校支援活動の模索です。私は、この活動が退職校長会発足以来の存在意義であると考えています。現場では、いじめ・不登校、特別支援教育や新しい教育内容への対応など多忙を極めています。かつて校長職にあった仲間が、お世話になった地域や学校、子供たちの健やかな成長を後押しする活動を少しでも展開できればと思います。

会活動が義務的参加ではなく、会の意義を踏まえ、「くなら参加できる」「くなら楽しく参加できる」「できることから参加する」との思いを共有できればと思っています。今年一年間よろしく願います。



田村支部総会・懇親会開催

四月十二日(土)に、令和七年度福島県退職校長会田村支部総会・懇親会が迎賓館「辰巳屋」で開催されました。

ご来賓として田村地区小・中学校長連絡会会長菅野学様、副会長榊原康夫様のご臨席をいただきました。

根本支部長の挨拶では、これまでの各種支部事業への支援協力への感謝の言葉が述べられました。今年度入会された四名の方の紹介があり、出席された佐久間敏晴様、鈴木敏夫様より挨拶をいただきました。

続いて、安生昌弘氏が議長に選出され議事が審議されました。令和六年度事業報告、決算報告が承認されました。本年度は役員改選の年でした。菅野正秀支部長以下事務局案が満場一致で承認されました。

総会後、今年度米寿をお迎えになられる、吉田勝人顧問の乾杯の御発声で、和やかな雰囲気の中で懇親会が開催されました。

久々に顔を合わせることができ、懐かしく楽しいひと時を過ごすことができました。

菅野新支部長のもと、田村支部諸活動の充実と、会員相互の交流の更なる深まりを確認しました。



令和七・八年度支部役員

支部長	菅野 正秀
副支部長	遠藤さとみ
副支部長	安瀬 一正
副支部長	根内喜代重
監事	佐久間光春
監事	根本 保男
庶務	箭内 良一
会計	高橋 秀章

新入会員から

今年度四名の新入会員を迎えることが出来ました。四名の新入会員の皆様から、現状や現職時の思い出などを寄稿いただきました。

入会にあたって

佐久間 敏晴



令和七年三月三十一日をもって役職定年となり、教職三十八年目を一区切りとして、退職校長会に入会させていた

らくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。しかし、定年延長制度、特例任用制度により、私は校長職を継続することとなり、令和七年四月一日より三春町立御木沢小学校に勤めております。全校生八十三名の子どもたちと教職員十八名という小規模校ですが、みなで力を合わせて楽しい毎日を過ごさせてもらっています。

退職校長会の皆様からは、いつ

も温かい励ましの言葉を頂戴してきました。本当に心強く、また明日から頑張ろうという気持ちを持つことができました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。改めて感謝しました。しかし、私はまだ現役です。で、これからの変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私は昭和六十二年四月、棚倉町立高野小学校から教員生活をスタートさせました。先日、特別支援教育支援協議会に出席した際、そこで最初に担任した児童が指導主事として参加しており、グループ協議では高野小の校長先生と一緒にになり、さらには高野小学校が今年度をもって閉校となることをお聞き、嬉しさと懐かしさと寂しさが同時に湧き上がる不思議な縁を感じました。

校長としての勤務では、やはり新型コロナウイルス感染症について語らずにはいられません。令和二年三月からの全国一斉の休校措置。さて、卒業式は、PTA総会は、児童の学びは……。

教育委員会の指導や地区の校長先生方からの助言をいただきながら、一つ一つ難しい判断を



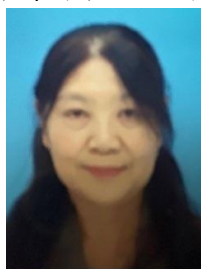
しなければなりませんでした。

しかし、このような状況の中でも、特に印象的だったのは、できないことをいつまでも嘆くのではなく、できることを喜び合う子どもたちの姿でした。これも子どもたちから学んだ財産なのではないかと思っています。

退職校長会の皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

入会のごあいさつ

今井 不二子



令和六年三月末日、三春町立御木沢小学校で役職定年を機会に退職し、今年度、退職校長会

田村支部に入会させていただくことになりました。入会に際しましては、わざわざ学校まで足を運んでいただき温かいお言葉を頂戴しました。大変感謝をいたしております。どうぞよろしくお願いいたします。

本宮町立の中学校が初任校となり、大学卒業後すぐに家庭科担当

の講師として、翌年度に新採用教員として着任しました。当時は、県内外でも校内暴力が問題となっていた後でした。さらに、学習指導要領の改訂に伴って家庭科が男女共修となり、所属校では男子生徒だけの家庭科の授業をすることになりました。

また、週六日制で授業以外の仕事も多くゆとりがない毎日が続き先輩の先生方から様々なことを教わりながら必死になっていたことを今も記憶に残ります。

退職した今、なりたかった教員の仕事でしたが、楽しいことよりも大変なことの方が多かった教員生活だったと思っています。そして、同時に教員としての仕事から離れて安心した気持ちです。これからは、無理をしないで自分のペースで過ごして、これまでできなかったことや、やりたかったことを一つ一つ取組んでいきたいと考えています。

退職校長会の皆様には、今後ともご指導とご助言をいただきますとともに、これからは会員としてもお世話になります。



ご挨拶と今の想い

渡辺 和也



役職定年を機に退職し、入会させていただきます。田村支部の先輩方、どうぞよろしくお願いいたします。

します。船引小を最後に退職した父も、皆様との交流をととても楽しみにしておりました。大震災後に亡くなりましたが大変お世話になりました。私は最後五年間を三春町に勤め、母校三春中で役職定年を迎えられたこと、皆様に心から感謝申し上げます。

現在、三春町教育委員会生涯学習課の会計年度職員として勤めております。行政職は八年間の経験あるのですが、社会教育分野は初めてで分からないことばかりです。町教委には添田直彦教育長をはじめ、校長会の先輩方がいらっしゃいますので毎日いろいろと教わりながらなんとか勤めています。退職後も皆様にお世話になり感謝です。また、町役場には優秀な若手が多く、教員不足の現場ではうらやましいでしょう。

学校を離れて改めて「教職は本

当に素晴らしい！」と思いましたが、私が言うまでもなくブラックではありません。しかしながら、自分はいよい指導ができず、関わった生徒諸君には本当に申し訳なく思います。それなのに、退職前の校長室に「安積二中バレー部OB有志」様からお花が届き、涙が出ました。同じ頃、初任校で学級委員長だったI君から「南会津T中学校校長の辞令いただきました。」との連絡、遠い所ですがうれしかったです。I君、バレー部諸君、そして関わったすべての皆さんの活躍を願うばかりです。



継続していききたいことは作品制作です。福大卒業時、彫刻の白澤先生から「美術教師は看板だけではだめだよ。」と言われ、細々と制作を続けてきました。先日、美術の指導主事として尊敬している遠藤和雄先生の個展で素晴らしい水彩画を見せていただき、少しでも近づこうと思いました。

会員の皆様を見習い、一日一日を大切に勤めていきたいです。ご指導よろしくお願い申し上げます。※いわき「そらカフェ」、会津若松駅前「Sugar」に小品を展示してもらっています。

会員として、校長として

鈴木 敏夫



法改正により、私の定年は六十二歳となります。若い頃は、還暦過ぎれば退職すると思ひ込んでいましたので、この改正は意外でした。しかし、周囲を見れば六十歳過ぎで働いている方も多いので、自分も働けるうちは働こうと考え方が変わってきました。これと言って特別な趣味もなく、優先してやりたいことがあるわけでもありません。強いて言えば、平日に旅行でもとうつすらと思っていたくらいです。見方を変えれば、この法改正は私には都合がよかったのかもしれません。

そこで、悩んだのが、定年までの二年間に何をするかでした。通級指導担当をまた、挑戦してみたいと思いましたが、これまで携わってきた管理職にも魅力を感じました。校長職としては、芦沢小学校で一年間、統合先の船引南小学校で二年間の計三年間の経験でしたので、別の学校の経営にも当たりたいと思うようになりました。六十

歳で一旦は役職定年となりますが、校長職の特例任用という採用枠に志願したところ、運よく採用が決まって、四月からは滝根小学校校長としてお世話になっております。滝根小学校は、統合後十年目の節目を迎えますが、三階建て校舎や雨風に当たらないで行ける体育館などが、まだ新しく、照明はすべてセンサー式、エレベーター設置、オーブン型の図書室：これまでの私の教員生活では考えられないほど最新式の設備となっていて感動する毎日です。一方、子ども達の素直さや元気さ、保護者の協力にも恵まれ、校長職としてのよいスタートを切ることができました。

この度、退職校長会に入会させていただき、これまで数々のご指導・ご助言をいただきました先輩校長先生方と面前でお話させていただけることがありがたいです。私の立場的には、退職校長会員であるとともに現職の校長でもありますので、これまで以上に「ご指導・ご助言・ご協力を仰ぎながら学校経営に当たりたいと考えています。お世話になります。」話になります。



米寿おめでどういづいます

吉田勝人先生が米寿をお迎えになりました。

五月三十一日、管野支部長と根内副支部長がご自宅を訪問し、県及び田村支部よりのお祝いをお渡ししました。

米寿をお迎えになり益々お元気な様子でした。田村地区小・中学校長連絡会長としてなど現職時代にご活躍されたことや、今も教え子達と強い絆で結ばれ交流されていることなど、にこやかに話されていました。

これから健康にご留意され、ご健勝にてお過ごし下さいますようお願い申し上げます。
今後とも支部後輩の我々をご指導いただきしたいと思います。
米寿おめでどういづいます。



会員の近況

〜輝きびと〜

庭球する心

佐久間 光春

「この一球は唯一無二の一球なりされば身心を挙げて一打すべし」。全日本庭球選手権第一回優勝の福田雅之介氏のことばです。

私は原町高校、福島大学と硬式庭球部に所属し、テニスコートで汗を流す青春を送りました。退職してこの方、また、テニスする情熱に火が付き、昨年二月から日本テニス協会ベテランシングルス七〇歳の部（七〇〜七四）に登録し、これまで仙台、東京、千葉、甲府、浅間などでの大会に出場しました。昨年の最高ランキングは一七番、この五月関東オープンと毎日テニス選手権でやっと二回戦敗退、まだ三回戦へ進むことができません。他は初戦敗退ばかりで現在ランキングは一九五番、試合で出てしまう課題は試合でしか解決できない、というのが実感です。

夢は四〇番台、全日本テニス選手権予選出場です。福田氏のことばは続きます、「この一球一打に技を磨き体力を鍛え 精神力を養うべきなり この一打にいまの自己

を發揮すべし これを庭球する心という。」

六月十六日は、神奈川ダンロップ初戦、小田原のコートです。

御代田裕紀先生が、昨年度開催された、第十三回福島県の桜フォトコンテストにおいて「福島民友新聞社長賞」を受賞された作品です。

『夕陽のなかで』

御代田 裕紀



学生時代に趣味でかじっていた写真を先輩の誘いで定年退職後に再スタート。

少人数の写真倶楽部に入って月一程度の撮影会がその活動内容でした。そのうちにコンテスト出品の機会があつて何度か出品・・・。

何度出品しても選に漏れ、なかなか思うような写真が撮れずにはいましたが、夕日に映えた桜と空の綺麗な情景に運良く遭遇してシャッターを切ったのがこの三春町中妻地区の和尚壇の桜です。

退職後も趣味やボランティア等、暇なしで過ごしています。

令和七・八年度専門部組織

◎研修

部長 谷川 健二
副部長 佐藤 道拓

◎広報

部長 遠藤 俊一
副部長 御代田 進一

◎調査

副部長 吉田 勇
部長 大河原 久宗
副部長 佐藤 和典
副部長 橋本 幸夫
副部長 堂山 昭夫

編集後記

退職者の楽しみの一つに、TVを観る事があるのではないだろうか。NHK朝ドラあまちゃん、相撲中継、そして大谷選手のMLB、・・・。会報「たむら」もその一つに加えていただければ幸いです。

退職校長会の課題解決のためにも、会員の皆様の元気な様子を出来るだけ発信していきたいと思ひます。後日原稿を依頼させていただきますのでよろしく願ひします。（M）